※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3016

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	教養国語	単位数	１単位	年次	全年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業は、国語の知識を高めたい人やより深く学びたい人向けの授業です。
・話すこと／聞くこと、読むこと、書くことの基本を身に付けるために、漢字や言葉の学習をしたり、さまざまな種類の文章を読んだりします。
・自らの考えや意見を表現する活動を行います。
・積極的に学ぶ姿勢を大事にしてください。

２　学習の到達目標

言葉による表現や伝わり方を理解し、言語活動を通して適切に表現する力を次のとおり育成することをめざす。
（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、文章の表現を正しく理解できるようにする。
（２）論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高められるようにする。
（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって国語の力を向上させ、他者や社会と関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
Ⅰ・Ⅱ	漢字や言葉との出会い ［教材］ 自作プリント	a：常用漢字を理解し、読み書きできるようにする。語句の量を増やし、語彙力を高める。 b[書]：一つの事柄について、さまざまな表現で書き表す。 c：進んで表現を考え、言葉の豊かさを味わおうとしている。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題
Ⅲ	生活の中の表現 ［教材］ 自作プリント	a：話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 b[話／聞]：相手・目的・場面に応じた言葉づかいを理解し、適切に表現する。 c：積極的に話し言葉と書き言葉を理解し、場面設定に応じた話し方をしようとしている。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	パフォーマンス課題
Ⅳ	論理的に読む ［教材］ 自作プリント	a：論理的な文章によく用いられる言葉の理解を深め習得する。 b[読]：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 c：粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題
Ⅴ	文学的に読む ［教材］ 自作プリント	a：文学的な文章によく用いられる言葉の理解を深め習得する。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、他者の意見と比較することで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 c：積極的に他者の意見を理解しようとするとともに、作者の意図を汲み取った上で自分の考えにいかそうとしている。	ワークシート 振り返り問題	ワークシート	ワークシート パフォーマンス課題

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間